

申13号

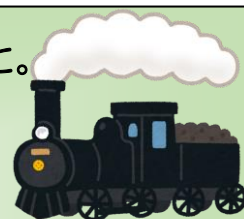
「SL 銀河」運行終了後の新たな価値創造と継続的な誘客施策を実施し SLを活用しての更なる盛岡支社内への観光流動の実現を求める申し入れ

会社は2021年11月19日に『「SL 銀河」の運行終了について』のプレス発表を行いました。内容は、「観光面からの復興支援と地域の活性化を目指し、2014年4月に釜石線で運行を開始した「SL 銀河」は、旅客車（キハ141系）の老朽化に伴い、2023年春をもって運行を終了することとした」とし、「運行終了後についても新たな観光列車の運行に向けて検討を進めるとともに、地域のみならず一緒に観光振興に取り組んでまいります」としています。

この間、「SL 銀河」を運行する目的を「東北地方へご旅行されるお客さまにSLの旅を体験していただくことで、さらに観光面からの復興支援と地域の活性化」とし、労使で議論し運行してきました。その目的は一定程度達成されていることや経営状況を踏まえてのコストがかかることも認識していますが、盛岡支社における「SL」の存在価値は大きいものであり、コストや老朽化を理由にしての運行終了は時期尚早です。さらに、2023年1月12日にアメリカのThe New York Times(ニューヨーク・タイムズ)が「52 Places to Go in 2023 (2023年に行くべき52ヶ所)」で、イギリスの首都ロンドンに続く2番目に盛岡市が紹介されたことも踏まえれば、盛岡支社として「SL」を活用しての新たな観光流動の実現が可能だと認識しています。

労使で議論してきた経緯と、今後の盛岡支社内への観光流動を実現するために下記の通り申し入れをしました！

1. 「SL 銀河」ラストシーズンを労使で成功に向けて取り組むこと。
2. SL車両の今後の運用方法を示すこと。
3. 「SL 銀河」における乗務員や検修員の今後の活躍の場を示すこと。
4. 「SL 銀河」運行終了後もSL運行やイベント等を活用し、東日本大震災からの復興支援や地域活性化に向けて取り組むこと。
5. SLのメンテナンスやイベント等の企画・運営を通じて、社員の成長や働きがいを出すること。



SLを活用して、盛岡支社を盛り上げるため、アイデアを出し合おう！